# 遊水地群模型実験現地視察（令和8年2月5日）

○ 阿武隈川上流遊水地群模型実験について現地視察を行い、遊水地の越流堤や減勢工の設計の考え方に関して説明を行うとともに、意見交換を実施。

- **日　時：令和8年2月5日（木）10：20～11：40**
- **場　所：(株)東京建設コンサルタント　かすかべ環境防災研究センター**
- **参加者：〈鏡石町議会〉角田議長　他9名**
  **〈鏡石町〉　　小貫副町長　他5名**
- **内　容：遊水地模型実験視察、意見交換**

## ＜参加者からの意見・回答＞

Q1.気候変動も踏まえ、大規模な洪水でもしっかり効果がでる遊水地をつくってほしい。
A1.令和元年東日本台風規模の洪水にも大きな効果を発揮する遊水地を整備する。

Q2.越流堤の長さは決定しているのか。
A2.模型実験の結果を踏まえ、最適な越流量となるように越流堤の長さや高さについて現在調整中。

Q3.肥沃な土地が遊水地になるのは残念。平常時の農地利用はできるのか。
A3.全買収後も河川占用により農地利用ができるように制度の見直しがされている。実際にどのような地内利活用をするかは、利活用検討会にて農地利用も含め検討しているところ。今年度は第２遊水地にてコシヒカリを作付けする試験ほ場を実施しており、3年程度かけて農地利用に関する技術的な評価を実施していく予定。

Q4.どのくらいの降雨規模まで効果があるのか。
A4.観測史上最大である令和元年東日本台風規模の降雨251mm/2日においても大きな効果を発揮する。

## ＜参加者からの感想＞

感想１.予算規模も施設も大きく不安なこともあったが、模型によるシミュレーションも踏まえ設計されていると分かり安心した。








▲　阿武隈川上流遊水地群模型実験　現地視察状況